探究的な学びと特別活動

特活主任　和田　香織

特別活動は、子どもたちが友達と関わりながら考え、話し合い、ときには試行錯誤しながら、「自分たちの学校生活を、自分たちの力でよりよくしていこう」という思いを形にしていく活動です。

今年度、代表委員会では、「廊下を安全に歩ける学校にしたい」という思いから「廊下歩行キャンペーン」を企画しました。放送委員会や広報委員会にも企画の協力を呼びかけ、工夫して取り組んだことで、廊下を歩こうとする子どもたちの姿にも変化が見られました。活動後には、「これからも続けていきたい」という声があがっています。

こうした「気づく→考える→やってみる→振り返る→また考える」という学びの姿は、「探究的な学び」とも共通しています。「やってみたら、少し学校が変わった」「友達と一緒に考えたら、こんなことができた」そんな小さな積み重ねが、子どもたちの「自分たちの力で、よりよいものをつくっていける」という自信につながっていくのだと思います。

これからも、子どもたちの「やってみたい」という思いを大切にし、仲間とともに考え、行動し、学んでいく時間を積み重ねていきたいと思います。

低学年の探究的な学びの取り組みについて

【1年】『あきと ともだち』

1年生の生活科では、子どもたちの思いや願いを大切にしながら学習を進めています。「なつと ともだち」の学習では、水遊びやしゃぼん玉遊びを行いました。水遊びでは、子どもたちの「もっと遠くまで飛ばしたい」「もっと楽しい遊びをしたい」という思いから、的当て遊びや水飛ばし大会を楽しみました。

また、しゃぼん玉遊びでは、「もっと大きくしたい」「もっとたくさん作りたい」「みんなで楽しみたい」という声をもとに、ストローだけでなく、モールやハンガー、網など様々な道具を使って活動しました。友達と試した遊び方を伝え合ったり、道具のよさを比べたりしながら、遊びを広げる姿が見られました。水遊びやしゃぼん玉遊びでは、ご家庭にも容器や道具の準備にご協力をいただき、子どもたちが様々な遊びを楽しむ助けとなりました。ありがとうございました。

現在は、「あきと ともだち」の学習が始まっています。生活の中から秋らしいものを探し、落ち葉やどんぐりなどを少しずつ集めています。これからは、秋ならではの自然物などに親しみながら学習を進めていきます。ご家庭でもぜひ、お子さんと一緒に身近な秋を探してみてください。

【2年】『おいしい やさいを そだてたい』

2年生の生活科では、1年生の時に「アサガオ」を育てた経験を生かしながら、野菜を育てる学習に取り組んでいます。子どもたちは、「自分たちで野菜を育ててみたい。」という気持ちから、「おいしい野菜を育てたい。」という意気込みへと変わり、夏野菜づくりを進めていきました。野菜作りについて必要なことを考えたり、調べたりする中で、「土はふわふわにする。」「肥料をまぜる。」「雑草が生えないようにしないと。」という気付きをもとに、野菜作りの名人であるJAの方にも教えていただきながら、畑づくりを行いました。育てている中では、虫に食べられたり、葉が枯れてしまったりして困ったこともありましたが、野菜が収穫できた時の子どもたちの笑顔は、とても嬉しそうでした。

2学期になり、冬野菜作りに挑戦しています。前回よりも畑づくりが上達し、今回もお世話になったJAの方にも褒めていただきました。毎朝の水やりも忘れずに行っています。これからも、子どもたちの「やってみたい」を大切にしながら、学習を進めていきます。